

報道機関各位

2016年11月2日

## 特発性肺線維症治療薬「比樂舒活錠 200 毫克<sup>®</sup>（ピレスパ<sup>®</sup>錠 200mg）」 の台湾における新発売について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、台湾子会社の台湾塩野義製薬股份有限公司が、特発性肺線維症（以下、IPF）治療薬「比樂舒活錠 200 毫克<sup>®</sup>（ピレスパ<sup>®</sup>）」（一般名：ピルフェニドン）を台湾において新医薬品として11月1日付で発売しましたのでお知らせいたします。

ピレスパ<sup>®</sup>の有効成分で組織の線維化抑制作用を有するピルフェニドンは、米国マルナック社および KDL 株式会社（本社：東京都）から塩野義製薬が 1997 年に導入し、国から難病指定されている IPF 治療薬として開発されました。その後、日本において「ピレスパ<sup>®</sup>錠 200mg」として世界に先駆けて承認され、2008 年 12 月より販売されています。2015 年度には、国内の IPF 患者およそ 1 万数千人のうち、約 4,500 名にお使いいただいております。

台湾政府の資料\*によると、2016 年度の台湾における IPF 患者数は約 1,500 名であり、その数は増加傾向にあります。当社グループは、台湾における IPF 治療への貢献を目指し、ピルフェニドンの開発活動に注力してきた結果、2016 年 5 月 10 日付で台湾当局より販売許可を取得し、このたび、ピレスパ<sup>®</sup>として上市する運びとなりました。

当社グループは、これまで日本で多くの患者さまにお使いいただき、蓄積してきたピレスパ<sup>®</sup>に関する様々な情報と経験をもとに、台湾においても適正使用および普及に努め、難病に苦しむ患者さまの QOL 改善に向け、医薬品企業としての使命を果たして参ります。

\*National Health Research Institute: National Health Research Database.

以 上

### 【ご参考】

#### 特発性肺線維症について

原因不明の疾患であり、肺胞壁の線維化が進行することにより、不可逆性の蜂巢肺（高分解能 CT にて肺が蜂の巣様に写る状態）形成をきたす予後不良の疾患で、日本では重症度によっては、特定疾患（いわゆる難病）に指定されております。一般的に拘束性障害〔肺活量や全肺気量の減少〕が認められます。症状（肺胞壁の線維化）が進行すると肺でのガス交換（酸素と二酸化炭素の交換）が困難になり酸素吸入療法等が必要になる場合もあります。

詳細については、以下のリンクをご覧ください

<http://www.shionogi.co.jp/IPF/patient/about/>

台湾塩野義製薬股份有限公司について：

台湾塩野義製薬股份有限公司は、塩野義製薬の子会社として 1964 年に設立された、医療用医薬品の研究開発・製造・販売を行う台湾法人です。「患者救命」という経営理念のもと、病に苦しむ患者さまに医薬品をお届けし、一人でも多くの命を救うとともに QOL 向上に貢献できるよう取り組んでいます。既存の主力製品である抗生物質「フルマリン®」や「フィニバックス®」の販売拡大に加え、台湾への新薬投入にも注力し、当社グループの中長期的な成長に貢献することを目指しています。

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596